



このたび、串木野高校の校長を拝命しました「立森秀行（たてもり しゅうぎょう）」です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この「串高通信」を、前任の堂園校長にならって継続発行したいと思います（続けられるかどうかちょっと心配……）。どうかお付き合いください。今日お届けする情報は、7日の始業式で、私が生徒たちに話した内容の紹介です。「こうあってほしい」生徒像ですので、保護者の皆さまにも共有します。

1 「大きなスケール」で、なりたい自分を思い描こう

- できるだけ大きい箱を用意しよう。学びは、人生のいろんな局面ですずっとついてまわる。様々な経験を大切にして、新たな学びを自分の中に取り入れよう。
- 小さなスケールで考えていたら、それ以上の自分にはなれない。自分の可能性を自分でつぶしてしまっているようなものだ。
- 大きなスケールでなりたい自分を思い描けば、失敗、困難、悩みなんて小さなものにしか感じなくなる。跳ね返す力も湧いてくる。

2 「見通し」を立てよう

- 何事にも「終わり」というものがある。ゴール地点にたどり着くまでに、どういう見通しを立てるか。どんな作戦を立てるかが大事。
- 例えば、3年生なら、1年後の自分はどこにいるのかというのをゴールとして考えた場合、半年後の自分、1か月後の自分、来週の自分はどうあるべきなのか。
- 自分の力でスケジュール管理するために、手帳を買ってみてはどうか。手帳にメモするのってかっこよく見えると思う。型から入るのもアリ。

3 「主体的な行動」が自分を成長させる 「チャンスは平等」である

- 君たちが成長できるシーンが、串高には用意されている。けれども、君たちが受け身なら、学びの本質には迫れない。十分な効果は出ない。
- 乃木坂46の「チャンスは平等」という曲に「君も僕もチャンスは平等。自分を信じてただじっと待てばいい」とあるが、じっと待つだけではダメだ。
- でも、「君も僕もチャンスは来るんだ。周りの人と比較したってしょうがない」という一節には共感する。人との比較よりも、過去の自分と今の自分とを比較しよう。

4 おわりに

- 暖かかったり、肌寒かったりの繰り返し。新学期スタート早々、体調不良にならないようにしっかりと健康管理に気を付けてほしい。
- 明日は入学式。新入生にとって、かっこいい先輩であってください。

※ 翌日8日の入学式での「校歌紹介」はまさに「かっこいい」先輩の姿でした。詳細はインスタ、FBをご覧ください。串木野高校、頑張っています！